

## 🔥 CONTENTS

---

### 01. 特集：カレー

- ・ 激辛に挑戦！
- ・ 本場の味を家庭で
- ・ おススメベスト3

### 02. 天神優人：ニック・サーズさん

「Fukuoka Now」編集長

### 03. お昼のオアシス

### 04. fashion

- 🔥 天神発!早耳映画情報
- 🔥 天神ぶらぶら
- 🔥 プレゼント& アンケート
- 🔥 エスプレッソを片手に
- 🔥 おやじのアンテナ

# 特集

## カレー

得意料理は何？と聞かれて、思わず「カレー！」と答えてしまうことってよくある。そりゃあ、好きな具材とルーを入れたら簡単に作れるのだが、本物のカレーとはまるで雲泥の違いだ。じゃあ本物のカレーって、どんなカレーなの？というわけで我らエスプレッソのカレーマニアが集結して、本気で旨いと評判の「本物のカレー屋」を独断と偏見によりセレクト。

さあ、本物のスパイスと上質な小麦粉、新鮮野菜をたっぷり使ったカレーで、夏バテから完全復活しましょう。舌がとろけるような街の美味しいカレー屋さんを紹介するよ！

01 激辛に挑戦！ ▶

02 本場の味を家庭で ▶

03 おすすめベスト3 ▶



VIDEO1 ▶ VIDEO2 ▶  STOP

※動画に不具合のある場合はWindows Media Player9(無料)をダウンロードしてご覧下さい。



※写真をクリックすると動画を見ることができます。

Media Player版 ▶01 ▶02

# 天神優人 ~あの人の素顔~

## 進化する七色の国際メディア

「Fukuoka Now」編集長 ニック・サーズさん



洗練されたデザインが魅力の7カ国語併記フリーマガジンといえば、「フクオカ・ナウ」がすぐ頭にうかぶ。編集長のニックさんは、カナダのトロント出身。大学時代にバックパッカーとしてアジアを放浪、最後に辿りついたのが日本だった。1年間、禅寺に居候したこともあるというから筋金入りだ。その後カナダで日本語学校に通い、やがてビジネスの拠点として大阪と東京を選択。父親の会社で扱うデザイン関連のソフトウェアの市場開拓を担当した。それから再びカナダに戻ったものの、どうしても日本が忘れられず、今度は縁あって福岡へ。

街と自然のバランスが好きというこの街も、今年で12年目。「日本は、自分の性格に合ってたんでしょね。それに刺激もある。例えば銀行ひとつ行くのも、違う国だから楽しめるじゃない!」。未知なる世界を面白いと感じ、そこに飛び込んでいける。その好奇心は、ニックさん天性のものだ。そもそも、仕事とは別に遊びで作ったフロッピーの情報媒体や、福岡の出版会社と作ったインターナショナル雑誌「レイダー」の発刊、それらが今の「フクオカ・ナウ」の原型なのだ。コンセプトは「実用的・エンターテイメント・オリジナリティ・インターナショナル」の4つ。外国人だけじゃなくて、福岡の国際人も一緒にエンジョイできる、そんなバリアフリーのメディアだね」とニックさん。

「この街が好き。だから福岡や九州の事をもっと伝えていきたい。将来は九州各県で発行したいですね」。創刊5年目。天神・親富孝通りからもっと広げていきたいと、ニックさんが目の前で何度も何度も大きな輪を描いてくれた。

スマートな身のこなし、グリーンの瞳、パソコンに向かう横顔は真剣そのもの。お忙しいところ恐縮していた私達に、丁寧で気さくな態度で接していただきました。ずっと日本に?と尋ねると「はい、すみません、おジャマします!」の一言。大笑いしました。

by akiko kosaka

# お昼のオアシス

## CHILI-JOE (チリ・ジョー)



福岡市中央区天神1丁目  
天神中央公園内  
TEL (092)713-6464  
営業時間 (11:30~20:00)



なぜか無性に食べたくなるタコライス。そんなとき、必ず行くのがCHILI-JOE。作り置きをせず、注文を聞いてから作る、こだわりのメキシカン。気軽に行けるテイクアウト専門店。

[詳しく見る](#)



by Chie  
Nagashima



今回もアクセントカラーや、小物使いのワンポイントアドバイスです。秋の装いは、重ね着や、色使いを楽しみましょう。

まこさん

(26歳/会社員)



**Point**

秋のコーディネートをいち早く、全体的にラフに着こなしています。

よしこさん

(33歳/販売員)



**Point**

大人っぽい小物使いで、シックにまとめました。

なつみさん

(22歳/販売員)



**Point**

ブーツを目立たせるために、洋服を黒目で決めました。

ゆみさん

(21歳/販売員)



**Point**

秋らしい小物使いで決めました。

しもむらさん  
オススメ  
グッズ

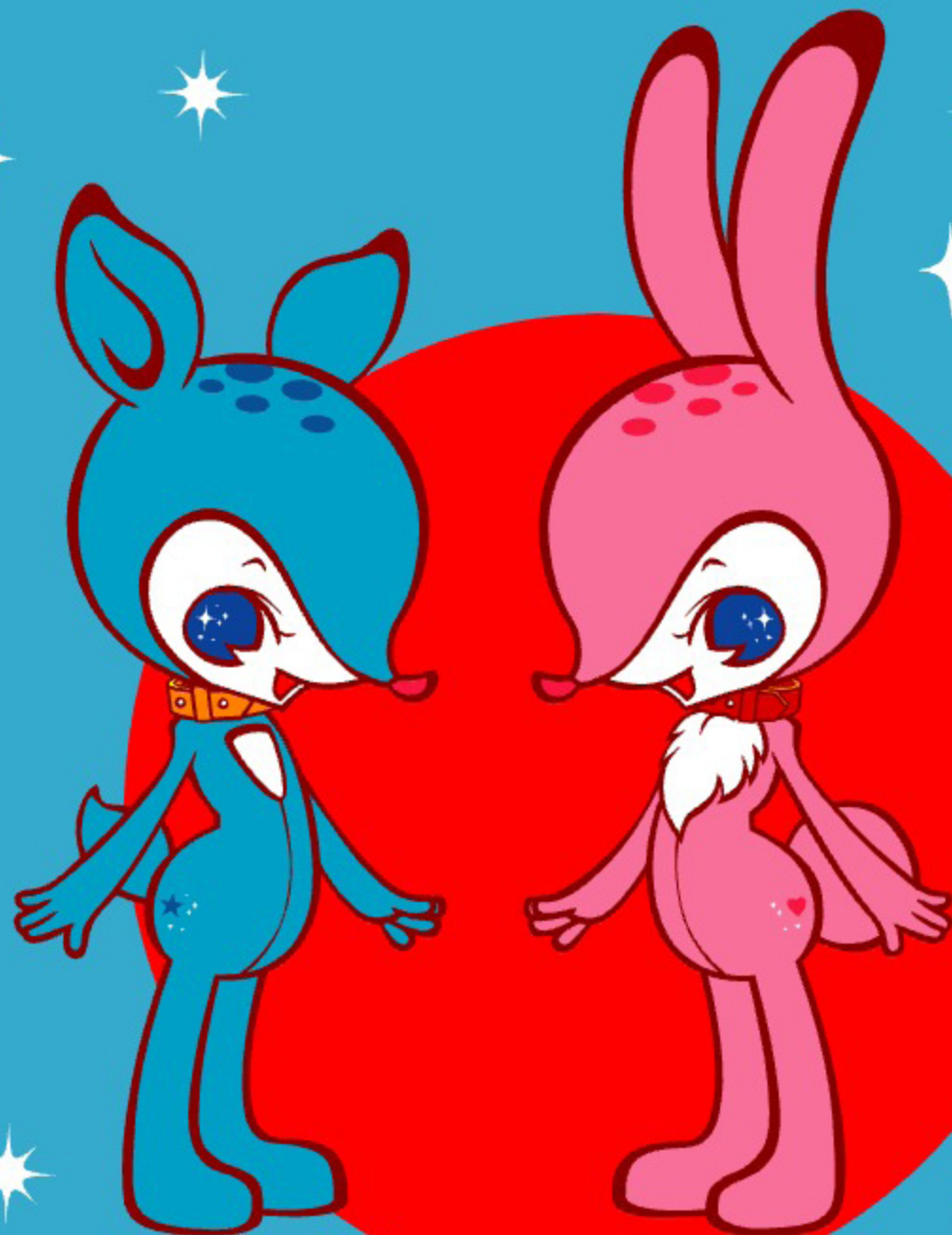


イタリアのブランドSTOKTONのローファー。白で型押し流行と言うより長一く履けるシューズです。ジーンズスタイルで、綺麗な着こなしになります。(24,000円)  
イムズ1階 ヒストリーmix/092-733-2323



今年よく使われているツイード素材がブーツにも。チェックのスカートや、アーガイルのセーターなどのトラッドな着こなしにもピッタリです。(veletto/イタリア 36,000円)  
イムズ1階 Cable Car Clothiers/092-733-2161

# lovely



e-mail: [info@espre.jp](mailto:info@espre.jp)

当ページ掲載作品募集中。詳しくはmailにてお問合せください。



© bambi.ca

top



STOP

死ぬまでにしたい  
10のこと

play▶

ROCKERS ロッカーズ

play▶

リーグ・オブ・レジェンド  
／時空を越えた戦い

play▶

28日後...

play▶



Media Player版 ▶01



▶02



▶03



▶04

仕事の忙しさにかまけてメイクは手抜き状態の私たち…。プロのメイクを体験して本来の美しい姿（笑）に戻ろうという企画です。before→afterの変化にはびっくり。メイクのテクニックもぜひご参考くださいね！

エスプレッソスタッフ永島嬢

### エレガントメイクに挑戦

0 ときどき店内へ

1 ベースメイク

2 眉

3 アイメイク

4 口元

5 完成 (before→after)

! スタッフさん

≫ お店案内 (MAP)

≫ お店のホームページへ





# プレゼント&アンケート



応募期間: 2003年9月12日(金) ~ 2003年10月9日(木)



1名様



3名様  
同伴者  
1000円



10月24日(金)  
開場 18:00  
開演 18:30

ペアチケット  
1組様



5名様

1. KBCシネマ1・2  
映画鑑賞招待券  
(有効期限2003.10.28)

2. シネ・リーブル博多駅  
映画鑑賞招待券  
(有効期限2003.10.31)

3. Chen Min(チェン・ミン)  
二胡 LIVE2003  
アクロス福岡シンフォニーホール  
(動画あり!!)

4. 天神コアラ  
500円分図書券

## アンケートに答えてプレゼントをもらおう!

アンケートはこちら

## ● エスプレッソを片手に

スタッフリレーコラム

カレーと言えば、私の場合、特別な時に作っていることが多い。特別というのは、ずばり気になる人に美味しいものを食べさせたい時。自分が「料理うまいじゃん（なぜか東京弁…）」という評価をもらいたい時。その上失敗する確率が少ないといえ、必然的にカレーになってしまう。レパートリーが少ないのがバレバレだが、私のお気に入りカレーの作り方を紹介しよう。

えー、まずニンニクを油で炒めて、たまねぎをキツネ色になるまで炒める。その後、ちょっと奮発したベーコンに、しめじ&にんじん&ピーマン、そこらへんにある野菜を入れる。水を入れて、後はルーを入れるだけ。それからチャツネという隠し味を入れる…。ああ、こうして書いてはみたもののどうしようもなく普通すぎて、申し訳ない。というのもですね、私は本格的なスパイスで作ったカレーというのが苦手なのだ。

昔、『通販生活』という雑誌で、コピーライターの糸井重里さんがレトルト商品化をしたこだわりの絶品「糸力カレー」なるものを試したことがある。糸井さん他、何人もの著名人が絶賛していたので、きっと美味しいに違いないと意気込んで、即申し込んだ。さっそく届いたものを温め、一口。「う…。何、これ…。」そう、一般ピープルの私の味覚には、まるで不適合の味だったのだ。その後、雑誌では、そのカレーが美味しいという者、不味くて食べるかという2者に分かれ、大激論が交わされた。ふうー、

味覚ってというのは、ほんと千差万別ですからね。でも、それを読んでちょっと安心したのも事実よね。



by Akiko  
Kosaka

# おやじのアンテナ

はじめまして、おやじのアンテナ初参加のしんぞうです。弱冠32歳にしておやじのアンテナ執筆チームに入れていただいて光栄のような、あー俺もそんな順番なのか、みたいな複雑な気分です。

ところで、まだまだ若いと自負している僕ですが、めでたく第二子（大真【たいしん】くんといいます。なんか、お坊さんにでもなりそうない名前でしょ！）が誕生しまして、それはそれでもっとも嬉しい事なのですが、我が家に一つ問題が発生しました。我が家は3つ部屋があり、奥の部屋はほとんど物置状態、真ん中の和室は寝室兼子供の遊び部屋、そして一番日当たりの良い手前の部屋は僕の趣味部屋として、パソコン2台・キーボード・ピアノ・CDコレクションが置いてあり、ゴチャゴチャしつつも自分にとっては、最高のリラクゼーションルームだったのです。で、ある日ふと嫁さん、「大真も生まれたし、また、おもちゃとか色々増えるね。寝室がいつも散らかっているものイヤだし、子供の遊び部屋があるといいけどね〜」と、遠まわしながらも、趣味部屋からの退去命令の発令です。しょうがないので、暑い土・日（最近涼しいですがその日は暑かった！）に一人で大規模な模様替えを行いました。それまで趣味部屋にあった物のほとんどを奥の物置部屋に移動。も一暑くてお茶なんか2Lくらい飲みながら、なんとか退去完了です。でも、一家の大黒柱の最後の砦としてパソコン1台だけは、残してやりました。はっはっは！ま、お父さんってこんなもんなんです。

関係ないですが、最近おじさんが昼間から空港でビールを立ち飲みしているのが、妙にうまそうに見えるのはおやじ化自覚症状の現れでしょうか…？

————— しんぞう Shizou\_Nishida@kyuden.co.jp

